



会報 2016年5月号

日本ニュージーランド協会 (関西)

創立 1970 年

New Zealand Society of Japan, Kansai

新緑の季節を迎えましたが、南半球ニュージーランドは秋が深まっています。限定的ながら関空からオークランドへの直行便が復活し便利になりました。ご存じの通り、ニュージーランドの国旗変更は中止となり喜んでいて年配のキウイも多いと聞いています。当協会の会員総会・懇親会は予定通り、4月16日に開催いたしました。役員も一部交替がありました。当日の資料を同封いたしますのでご覧いただくようお願い申し上げます。支払い明細表などの資料をご希望の方はご連絡ください。創立45周年を経た今後の運営・行事へのご提案などをお待ちしています。

第259回例会のご案内

NZラム&ビーフ調理・試食会

葉書・メールで既にご案内の通りですが、キャンセル待ちです。

今回で10回を迎える好評の定例行事。

と き：5月14日(土) 10:30~14:00

ところ：こうべ市民福祉交流センター TEL 078-271-5366

三宮から徒歩20分程度

参加費：大人2000円 小学生以下 1000円

秋の予定

ネルソン市民合唱団公演 10月10日(体育の日)午後 天満教会

五條・柿狩り 11月12日(土)

クリスマス例会 11月23日(勤労感謝の日)昼 神戸外国倶楽部

事務局：大阪市西区江戸堀1-23-26 西八千代ビル3階C

N.S.コンサルタント内 電話：(06) 6607-2112

HP：http://nzsocietykansai.com

E-mail：nzsjk1970@yahoo.co.jp

第259回例会案内

NZラム&ビーフ調理・試食会

*ご好評のためキャンセル待ちです。

メール・葉書で既にご案内の通り今年は10回目を迎えます。

今回も、呉橋・永田・松元さん他役員のお世話になります。

美味しく健康にもよいNZのラムとビーフを調理し試食しましょう。

ご家族・友人のご参加も歓迎します。(協賛:アンズコフーズ)

と き : 5月14日 (土)

10:30~14:00

ところ : こうべ市民福祉交流センター

・調理実習室

三宮から徒歩20分

Tel: 078-271-5366

参加費 : 2000円 小学生以下は1000円

持参品 : エプロン・飲み物

定 員 : 30名 締切り : 5月6日

申込み : Tel&Fax: 06-6607-2112

メール : nm040343@kobe.zaq.jp

問い合わせ・当日の連絡 :

090-1952-9370 (呉橋)

*NZラムの特徴 : 鉄分・ビタミン・亜鉛等を含む 良質な赤身肉。

低脂肪・低カロリー・低悪玉コレステロール。

NZ産は生後4ヶ月から6ヶ月で出荷されます。

今回のカンタベリー産は最高品です。

*NZビーフの特徴 : 栄養豊富な牧草だけを食べて育った赤身肉。

ラムと同様の栄養分が豊富に含まれている。

詳細を知りたい方は、ビーフ&ラムニュージールランドのHPをご覧ください。

楽しい動画も用意されています。

<http://newzealand-beef.jp/beef>

第257回例会

■サントリー山崎蒸溜所見学記

Yamazaki, Where Japanese whisky was born.

桜がちらほら咲き始めた、3月26日に1年越しに待っていたサントリー山崎蒸溜所の見学会が行われました。入場受付付近は、手入れの行き届いた庭が広がり、谷川のような流れが作られ椿、山吹、土佐ミヅキ、等春の花がいっぱいです。将来、キーウイの人たちを案内することもあり、3人は英語の解説レシーバーを借用されました。見学は1つのグループに3人の案内者がついてくださり、丁寧な説明があり、色んな質問にも答えていただきました。山崎ウイスキーは、今から90年前、ウイスキー作りにおいては一番大切な、良質な水と、自然環境にこだわりこの地が選ばれたそうです。皆様も既にご存知でしょうが、説明を受けたウイスキー作りの、蘊蓄を少し。ウイスキーは大麦と水で麦汁を作ることから始まります。その麦汁をろ過して、発酵槽に移して酵母を加えれば、もろみが出来ます。もろみは色んなタイプの原酒を作るために、木桶とステンレス製の2種類の発酵槽に入れられ発酵されます。発酵された、もろみはポットスチルと呼ばれる様々なタイプの蒸溜釜に入れられ、2度にわたり蒸溜されてアルコール度数の高いニューポット(無色透明なモルトウイスキー)がつくられます。その間絶えず人の手で管理されています。ニューポットは様々な形状・材質・大きさの違う樽にいれられ、眠りにつきます。その間、気候風土・保管場所によって多様、且つ無限の香と味を持つウイスキーの原酒が出来上がります。そして最後の大切な作業がブレンドです。ブレンダーは一日何百種類もの原酒をテイस्टィングして、今使うもの、将来使うもの、保管位置を変えるもの、等を判断します。今一番、必要なものを厳選し配合して、最良のウイスキーが出来上がり、初めて市場に出回ります。今日私たちが見た蒸溜釜のニューポットが飲めるのは10・20年後だそうです。飲めるといいのですが・・・

見学の後はお楽しみのテイスティングです。2種類の原酒の飲み比べと、美味しいウイスキーの飲み方を教わりました。私はハイボールが美味しかったです。

おつまみはスモークチーズと枝付きの干しブドウでした。ウイスキーは糖質が低く、プリン体もほとんど無く、樽熟成のため香りがよく、ポリフェノールが溶け込んでいる体に良いお酒だそうです。



(テイスティング風景)

ウイスキー館でお土産を買って、おいとましました。テイスティングでのほろ酔いを花冷えて覚ましながら、ブラブラと周りの景色を楽しみ、写真を撮りながら、駅前のカフェの昼食会場へ。デザートとコーヒー付きのランチをいただき、例会を終了しました。

尚 見学希望の方は2ヶ月前から予約ができます。

1名1000円 TEL: 075-962-1423

(塙 幸子)



大矢昇 松元昇 三浦治郎 塙幸子 荒田利男
石井久行 林園子 中谷紀子 林弘子 正木紀通
北野和夫 山田輝子 (前列左より)

■ NZ 初体験珍道中

1. 入国検査でスーツケースを・・・。

2月29日から3月13日の間、石井さん、井上さんと3人でNZへ行って来ました。

3月1日10時30分、約1時間15分遅れて **Auckland** 空港にやっと到着。

入国検査で私だけ、いきなりスーツケースをあけさせられ、ドキドキ！

国内線乗り換え便に遅刻して、We are sorry too late. と言ったらまだまだ遅れてくる人が沢山いた。

2. いきなりトラブル！

国内線に乗り換えて **Christchurch** へ。空港で待てども待てども私のスーツケースが出てこない！これがほんまの Baggage Claim や！なんて言ってる場合やない！さすが石井さんNZ航空カウンターと交渉の結果、スーツケースはその日のうちにホテルに無事到着。



(中村 井上 石井)

3. またトラブル！

2日目は楽しみにしていた **Lake Tekapo** の星空ウオッチング。バスが迎えに来る前に、夜空に浮かぶ羊飼いの教会を見に行ったのが失敗！ホテルに帰ったらバスは既に発車していた！「どうするか？」「車で追いかけてよう！」**Mt. John** を中腹迄登った所、無常にもゲートが出現！鍵もかかっている！

「しまった！万事休すか？」

その時、暗闇をさいて1台のバスがやって来て、ゲートの前に停車した！！私がバスのドアをたたいて We are a group of another tour! so please take us. と必死になって訴

えた。中から日本人ガイドが出てきて私にハグした???

「あなた方を探していたのですよ！」と言ってくれた。

私たちが乗車予定のバスが、親切に私たちを探していたため、遅れてゲートにやって来たのだった！星空ツアーは予想通り素晴らしい南半球の星たちを見ることが出来て、十分満足できました。

4. 晴天の Mt.Cook

4日は単独でのマウント・クック日帰りハイキング。近づくにつれて山容がくっきりと見え、スイスのマッターホルン並みの登頂困難さが窺えた。



(右: Mt.Cook)

5. Milfordtrack 1日ハイキング

今日も単独でミルフォード・トラック1日。英語にガイドの説明が聞き取りにくいので、I can hardly to hear English、so please take care for me.と言っておいたにもかかわらず、全く Care する気配無し。しかたなく、同行のユダヤ人グループの人達に分かり易い英語で解説をお願いして、ツアーを続けた。中高年の彼らは大変陽気で、ランチタイムには山小屋にあったギターを弾き、祖国の歌を唄ってくれた。大変打ち解けて最後にはイスラエルに招待されたけど、危険そうなので止めときます。

ミルフォード・トラックは、うっそうとした森林と清流、小鳥の鳴き声、どれを取っても

山好きには大変魅力的な場所でした。

6. Milford Sound

ミルフォード・サウンドも単独行動。

昨日もヒヤリングが出来なかったため、本日も不安。バスの中でふと見るとアジア人らしい若い女性の一人旅。Are you a Japanese or Chinese? と聞いてみた。「日本人です。」と答えが還って来てホッとした。相手の迷惑をかえりみず、横について歩くことにした。フィヨルド・クルーズの絶景をバックに若い女性と片時のロマンスを楽しみました？！



ミルフォード・サウンドのクルーズは太古の昔、氷河が削り取った谷に海水が入った独特のフィヨルド地形を満喫させる素晴らしいものでした。

7. 危機一髪

井上さんの名ナビゲーションのもと石井さんと私の2人で約2400kmをレンタカーで運転して来て、疲れが出てきたのでしょうか？睡魔が襲ってきて目を開けようとするのだけれど、瞼が降りて来る状態が続いていた……。気が付いたらタイヤがセンターラインを踏む音でハッとした！！

おそらくコンマ何秒か眠っていたのでしょうか？ 神仏のご加護で一命をとりとめたと思っています。

*. そんなわけで珍道中も無事終了となりましたが、NZは一般道が制限時速100kmですので、皆さんもレンタカーを運転される時にはくれぐれも居眠りにはご注意ください。

(中村重夫)

■4度目のニュージーランド

2010年のクライストチャーチで行われた40周年記念式典への出席以来の旅になりました。友人の井上・中村さんと私、老人3人組の13日間の気軽な旅でした。足はレンタカーと列車、クック海峡はフェリーでした。

45周年記念として協会主催のツアーを考えたこともありましたが、会員のニーズも様々で実現できませんでした。私自身6年もNZを訪れていないので、ある種の禁断症状が出てきました。そこで、3年前に会員になり、NZ未経験で山歩きが好きな中村さんと6年前に川瀬初代会長のカンタベリー大学で行われた式典に出席して以来、NZワインファンになった井上さんを誘いました。2月29日、伊丹・羽田・成田経由でオークランドへ。理由は、関西人が成田経由でニュージーランド航空を無理してまで利用する実績を作れば関空便の復活に微力ながら貢献できるのではないかとの思いでした。しかし、仁川経由に比べ航空券が高くなり、そのうえ伊丹・羽田経由で出国前に疲れました。多くの会員の皆さんは、オークランド・クライストチャーチ・クイーンズタウン等によくご存じだと思いますのでテアナウから行った「神秘的な入り江」について書かせていただきます。

テアナウは湖に面した観光の経由地です。私たちはYHAの男女相部屋で2泊しましたが、詳細は割愛させていただきます。

日本のバックパッカー宿でも場所によって相部屋は経験できますので一度経験されては如何でしょうか。紳士・淑女の会員の皆さんは問題ないと思います。町のビジターセンターのトイレは何故だか無料で利用させてくれましたのでこの後のラーメン代が浮きました。人口3000人の静かな町が3人とも気に入りました。

ダウトフル・サウンド

フィヨルド国立公園には、14のフィヨルドがあり、世界遺産に指定されています。

1770年、クック船長が探検したとき、この入り江に入れば出て来られるかどうか疑問だということの名づけたそうで、当時は、ダウトフル・ハーバーと呼ばれました。



(船内の地図パネル)

ミルフォード・サウンドに比べると世界的には名前が知られていませんが、ミルフォードより全長が3倍、海面面積が10倍。人間の手が殆ど入っていないのでより神秘的です。多雨地帯で西へ行くほど雨が多いそうです。天候の変化が激しいことでも有名です。アクセスが良くないので(船・バス・船の乗継で)観光客もミルフォードより少ないようです。ダニーデン在住の客員会員、ロウクロフト・真弓さんも推薦しています。ツアーでは、テアナウからバスで30分南のマウナポリの船着き場へ。食事券を受けとり、船でウエスト・アームまで西へ45分。はじめは曇り空で神秘的な雰囲気が湖に漂っていました。そのあと時々雨も降りだしました。ここで、自然保護運動の象徴になったマウナポリ発電所(1971年完成の地下発電所)を見学する予定でしたが、修繕工事が長引き当日(3月5日)は見学できなく落胆。建設構想当時の1960年代、NZ内外の猛反対を受けて自然環境を守るために発電設備を地下に設けたそうです。本来ならバスで地下道を下がってタービン室が見学できたそうです。再度の挑戦をしたいと思いますでしたが、次回があるかどうか井上さんと顔を見合わせました。バスの待合室には模型とパネルの簡単な展示があり「Water alone has no power, Water and landforms speak another tune.」と書かれていたのが印象的でした。環境を大切にまたそれをうまく観光資源として活用するNZの姿勢を各所で感じました。船着き場から雨に打たれた変電所と送電塔が幻想的に見えました。幽霊の住むお城のように。



(マウナポリ変電所)

ウエスト・アームから再び別のバスに乗り換えて難工事で切り開いた22キロの未舗装の道路を1時間走りました。小川が流れ、小さい滝があり、湿気を含んだ木々を見て自然を堪能しました。ゴミを見かけなかったのも嬉しいことでした。途中のウイルモット岬(標高670m)でダウトフル・サウンドを展望し、ディープ・コーブと呼ばれるところまで下り、船に乗り換えいよいよダウトフル・サウンドへ乗り出しました。噂通り6年前に訪ねたミルフォード・サウンドより神秘的で30以上の小さい島々が左舷・右舷に現れました。山に降った大量の雨が滝になりいたるところから流れ落ちていました。



(滝の流れる風景)

タスマン海に出会う岩礁にはオットセイの姿がありましたが、ペンギンは見かけませんでした。無料のコーヒー・紅茶と簡単なランチ・ボックスで昼食を済ませ3時間ほどのクルーズを楽しみました。船長の説明が語学力と片耳がだめなので十分理解できませんでした。粋な配慮でエンジンを止めた Sound of Silence の時間もあり、皆さん自然を堪能されました。春節も過ぎ、隣国の方々の姿も船上になくヨーロッパ人が多く静かにNZらしい時間を過ごせました。帰りは同じルートでテア

ナウへ戻り、老人2人で水上のセスナ機を見ながら湖畔を散策していたら現状の国旗と新候補の国旗を2本同時に立てている家がありました。どちらに投票するのか気になりました。旅行中、多くの人にどちらを支持するか聞いたところ年配者は現状が良いとのことでしたが、国籍を持たなくても一定の基準を超えた永住権を持つ人にも投票権があると聞き驚きました。TPP交渉でも日本政府があまり公表しないことでもニュージーランド側からは内容が出たこともあり、この国の透明性を感じました。この日、中村さんはミルフォードの日帰りトレッキングに参加して自然を楽しんだそうです。帰国後、NZ航空からのメールマガジンに限定だが関空からオークランドまで直行便が復活し10万円程度で売り出し中との記事がありました。(石井久行)

■話題のNZ映画

今年のベルリン国際映画祭で上映されたNZの映画「MAHANA」が話題になりました。舞台は1960年代の東海岸。対立するマオリの2家族の物語です。クジラの島の少女の著者、ウイティ・イヒマエラの作品。日本ではいつ上映されるでしょうか？ ご存知の方は教えてください。



NZニュース・クリッピング

(3月～4月)

- ・準備銀行が OCR (オフィシャル・キャッシュ：レート) を 2.25 に下げることが公表する前にリークがあった。(3.10)

1人のジャーナリストが漏らし、金融市場で不正なゲインがあったかもしれないと前総裁のウィーラー氏が述べた。

- ・国旗変更 国民投票 (3.30)

現行国旗支持約 120 万票、新デザイン支持約 91.5 万票、有効投票 213.5 票で現行のものが支持されました。年配者には現行支持がやはり多かったようです



- ・交通事故死 (4.8)

今年の1月と2月の死者は各33人、3月は26人、今年に入り毎日1人の死者。
昨年は329人が死亡

- ・養鶏の虐待 (4.12)

大手スーパーのニューワールドを傘下にもつ Foodstuffs 社の一族と Fonterra 社の前会長のヘイデン氏の所有するワイカト・ファームで鶏が虐待されて飼育されているビデオが公開された。

- ・雇用はNZ人を優先に (4.14)

ウッドハウス前移民相は、雇用主は海外からの人材を採る前に自国の労働市場に目を向けるべきだと発言。

- ・イラン人映画監督に入国ビザ

5月にオークランドで開催されるドキュメンタリー映画祭にイラン人監督、ロサーム・ガエ・マガミ氏は不法滞在の可能性があるとビザ申請を却下され、海外と国内の関係団体の働きで入国ビザが下りた。

- ・自動車の運転免許 オンライン可能 (4.21)

今後、更新がオンラインで可能になり視力検査も不要に。ただ、最初と75歳以上は視力検査は必要に。

- ・AUS と NZ 両国を行き来できるビザを発行 (4.27)

両国に入国できるトランスタスマンツーリスト・ビザが間もなく発行できるように検討、AUS は前向きに、NZ は慎重に。

- ・ANZACデー 100周年を迎えた (4.28)

4月25日のアンザック・デーは夜明けの儀 (Dawn Service) が各地で行われた。
オークランド・ドメインでは3万人が戦没者の冥福を祈った。

(NZ大好きより)

■エリザベス女王2世の誕生日

英国のエリザベス女王2世はニュージーランドの国家元首でもあり、1926年4月21日生まれで今年は生誕90年を迎えられました。誕生日はウンゼー城で私的な夕食会があり、翌日にはオバマ大統領と食事もされました。英国では女王の誕生日は祝日ではありません。6月の第2土曜日が公式の誕生日で、今年は6月11日に公式式典が行われます。女王の父、エドワード7世は1841年11月9日に誕生されました。誕生月の11月は時期的に天候も悪くパレード等の式典には都合が悪いので公式の誕生日を5月か6月にしたそうです。ニュージーランドでは、6月の第1月曜日が女王生誕祝日で今年は6月6日です。カナダではビクトリア女王とエリザベス女王の生誕祝いを兼ねて5月25日の直前の月曜日を祝日としてビクトリア・デイと呼んでいます。今年は5月23日です。

年会費のお振込みのお願い

当協は皆さんからの年会費により運営されております。

2016年度の年会費をご請求いたしますので、6月末までにお振込みいただきますようお願いいたします。

会費：3,000円 ユース会員（31歳以下）は2,000円です。

ゆうちょ銀行に口座を持ちATM利用の際は、手数料は無料です。

他行からの振込	店名：ヨンイチハチ	店番：418
ゆうちょからの振込	記号：14110	番号：56529351
普通口座	5652935	名義：日本ニュージーランド協会（関西）

ご寄稿のお願い

皆様からの原稿をお待ちしています。

ニュージーランドに関する情報・旅行記等をお気軽にお書き下さい。

締め切りは、6月17日です。

協会事務所

2年前の6月に万歳町（呉橋会員の事務所内）から江戸堀（中村会員の事務所内）に移転したことはご存じの通りですが、4月末に資料・図書コーナーも設け、会員の皆さんに開放していますので、お気軽にお立ち寄り下さい。

場所は土佐堀YMC Aの向かいです。市内で最も手入れの良いウツボ公園や国立国際美術館にも徒歩5分程度です。

不在の時もありますので、来られるときは事前にご連絡をお願いします。

☎06-6441-7757 NSコンサルタント内

（地下鉄四つ橋線 肥後橋駅下車 2番出口上がる 西へ5分）
